

三森 循環器科 呼吸器科 病院が 担う役割について

平成30年12月 三森循環器科・呼吸器科病院

1 現状と課題

【自施設の現状と課題】

基本理念

地域における

『**かかりつけ病院（ホームホスピタル）**』

を目指す

充実した体制により、1日も早い健康回復と社会復帰を願い、心温まる環境作りに励みます。

1 現状と課題

基本方針

- 1. 職員、一人一人が医療従事者としての心構えを持ち、笑顔で患者さんに応対しましょう。**
 - ・医療従事者としての意識・責任を持ち行動する
 - ・患者さんが安心して診療を受ける体制を整える
- 2. 研修等に参加し、医療レベルを向上させましょう**
 - ・各種の院内, 院外の研修会に参加し、一人一人がレベルアップを目指す
- 3. 職員が働きやすい, 働きたいと思える環境体制を整えましょう**
 - ・職員が個人の能力を最大に生かせる環境, スキルアップができる体制作りをします

1 現状と課題

沿革

開設日 昭和38年7月

開設者 三森 史朗

昭和38年3月 三森医院 開業

昭和44年6月 山鹿温泉病院 開設

平成01年3月 医療法人社団 三森会 三森病院 開設

平成15年4月 山鹿市大橋通へ移転
医療法人社団 三森会

三森循環器科・呼吸器科病院 開設

1 現状と課題

現況

●医療許可病床数

58床(地域一般入院病棟)

●標榜診療科

循環器科、呼吸器科、消化器科、内科、
アレルギー科、リハビリテーション科、神経内科

●平均在院日数

31日※平成29年4月～平成30年3月

34日※平成30年7月～平成30年9月

1 現状と課題

現況

●医療機関指定

救急指定病院

生活保護指定医療機関

難病指定医療機関

労災保険指定医療機関

被爆者一般疾病指定医療機関

熊本県肝疾患専門医療機関

熊本県肝炎治療指定医療機関

1 現状と課題

職員数 (平成30年9月1日現在)

職	種	常	勤	非	常	勤	合	計	
医	師	2		13			15		
医療技術員	薬 剤 師	2		2			4		
	放 射 線 技 師	1		1			2		
	検 査 技 師	2					2		
	理 学 療 法 士	3					3		
	リ ハ ビ リ 助 手				1			1	
	管 理 栄 養 士	1						1	
看護部	看 護 師	29					29		
	准 看 護 師	7		1			8		
	看 護 補 助 者	9		3			12		
事	務	11					11		
合	計	67		21			88		

1 現状と課題

特徴

循環器科・呼吸器科を中心とし、内科全般の治療を行っています。

個人健診・企業健診等の予防医学から24時間対応の救急医療、リハビリテーション、入院治療、さらに訪問診療等の在宅医療までの総合医療に力を入れています。

1 現状と課題

課題

医療従事者の確保

⇒患者さんが安心して治療、療養ができる環境作りをするためには、充実したスタッフの確保が必要となる

各種の広告媒体等を利用し、確保に努めています。職員が働きやすい環境作り、スキルアップのためのバックアップ等を行い、当院で働き続けたいと思えるように努めています。

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

・当院は、循環器・呼吸器を中心とし、救急医療機関としての役割を担っております。

今後も、急性期病院等から直接、自宅・施設等への退院・転所が困難な患者さんに対して、当院にて、治療及びリハビリ等を継続し、円滑に退院・転所が出来るように努めています。

患者さんが住慣れた地域で安心して生活するため、予防医療から専門医療までを対処し、地域医療の重要性と連携性をふまえながら、柔軟に対応していきたいと考えています。

3 具体的な計画

【① 4機能ごとの病床のあり方】

(単位:床)

病床機能	2018年 (平成30年)	2023年 (平成35年)	2025年 (平成37年)
高度急性期	—	—	—
急性期	58	48	48
回復期 (地域包括ケア)	—	10	10
慢性期	—	—	—
その他	—	—	—
合計	58	58	

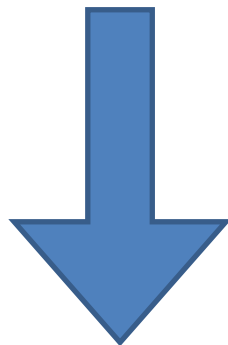
急性期病床を中心とし、一部も病床を地域包括ケア病床(10床)へ移行するように考えています。

3 具体的な計画

【② 診療科の見直し】

《診療科-2018年》

循環器科、呼吸器科、消化器科、内科、
アレルギー科、リハビリテーション科、神経内科



現時点での、診療科目の
見直しは考えておりません。

《診療科-2025年》

循環器科、呼吸器科、消化器科、内科、
アレルギー科、リハビリテーション科、神経内科

3 具体的な計画

【数値目標】

(単位:%)

病床機能	現時点 2018年 (平成30年9月)	2025年 (平成37年)
① 病床稼働率	87.3%*	90.0%
② 紹介率	—	—
③ 逆紹介率	—	—

* 病床稼働率は、平成29年10月～平成30年9月までの病床稼働率となります。

◎ 紹介率、逆紹介率は、計算できておりません。

3 具体的な計画

【取組みと課題】

各医療機関や施設等との情報交換を密にし、転院や入院等の依頼を積極的に受け入れるように努めます。

患者さんが安心して、住み慣れた地域で生活ができるように、救急医療から在宅医療までの総合医療の向上に努めます。